

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）復興支援 活動報告書

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」 大竹 修

復興支援ボランティア・ツアーVol.10「神戸から真備へ」が終了しましたので、
下記の通りご報告致します。

記

活動日時	2019年5月11日（土） 6時50分～19時
活動場所	岡山県倉敷市真備町
ボランティア数	21名（男性6名,女性15名/内初参加9人,学生16人）
活動内容	1.学習支援 2.子ども支援 3.見守り活動／サロン活動、4.写真洗浄
その他	赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の助成事業、たくさんの方のご寄付でなっております。

【詳細／情報共有】

1.学習支援

場所	箭田コミュニティセンター（サンサポート オカヤマ様所有スペース）
作業時間	2時間（13時～15時）
ボランティア数	1名
受益対象者数	2名（中学生1名、保護者1名）
支援・協力団体	サンサポートオカヤマ様（場所提供）、つむぎママ様（告知）
作業内容	学習支援
詳細・情報共有等	サンサポートオカヤマ様のコミュニティスペースにて、高校教師ボランティアを迎え、無料の学習指導を行なった。 <活動の成果> - 適切な指導により勉強方法や進路の明確なヴィジョンを持たせた。 - 親身に対応することで、将来の不安を取り除き、前向きに考える力を養えた。 - 保護者に対しても、現在の指導方法などを説明し、子供と一緒に勉強に向き合える方法を伝えた。 

詳細・情報共有等	【学ぶことの楽しさを伝える】 英語が苦手な中学生に、学ぶこと楽しさを伝えるよう指導。最初はあまり乗り気ではなかったが、中盤から楽しく課題に取り組むようになった。 今回は個別指導だった為、きめ細かいやりとりが出来た。
----------	--

2.こども支援

場所	①岡田仮設住宅	②真備児童館
作業時間	1.5時間（10時30分～12時）	2時間（13時～15時）
ボランティア数	13名	13名
受益対象者数	10名	60名
作業内容	レクリエーション等	レクリエーション（宝探しゲーム）
詳細・情報共有等	仮設の集会所、真備児童館で、子供向けレクリエーションを行った。 <活動の成果> 1.ストレスを発散し、不安や悲しみを生きる強さに昇華させる支援を行なうことができた。 2.子どもたちが地域住民と触れ合うことで社会性を伸ばすことが出来た。 3.他人を思いやれる暖かい心を育てた。 ①岡田仮設住宅 【地域と仮設住宅の良好な繋がりを目指して】 岡田仮設住宅は、今回で4回目になり、次フェーズとして、地域と仮設住宅の良好な関係を目指し、仮設周辺の告知を始めた。 結果、岡田幼稚園に来ておられた家族や、近隣にお住まいの方、数組に参加して頂き、仮設の方とのコミュニケーションを取ることが出来た。 一方で、「やはり仮設には行きにくい」と断る方もおり、無理強いするつもりはないが、コミュニティが失われる仮設から孤独死が生まれる事もあるので、今後も仮設と近隣がつながっていけるような活動を行っていきたい。 （近隣の参加者たち） 今日は声をかけてくださりありがとうございます。 災害後からボランティアの方々にはいろいろな支援をしていただき感謝しています。 3人の子どもを抱えての災害後の生活はほんとうに大変な日々でした。 全国ニュースなどでは真備の災害のニュースが流れることはなくなり、世間ではもう忘れさられつつありますが、このように気にかけてくださっているということを直に感じる事ができうれしく思いました。 我が家の子どもは元気いっぱいなので、なれないアパートでの暮らしで我慢させていることもたくさんあります。 若いお兄さん、お姉さんたちにたくさん遊んでもらえ、楽しかったとても喜んでいました。 （近隣の参加者の感想）	

詳細・情報共有等

【世代間の交流】

大人と子供と一緒に楽しめるようなイベントを企画し、子供達は親以外の大人達と接することで社会を知る事が出来る。
子供達の情操教育支援のためにも、今後も行ってきたい。



参加者の繋がりで、岡田幼稚園に今後チラシを置かしてもらうこととなった。

②真備児童館

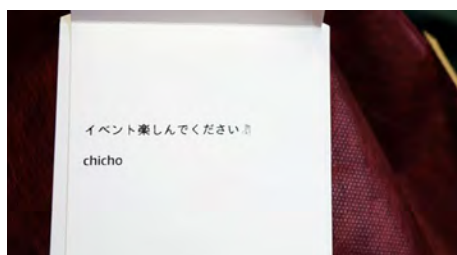
昨年のクリスマスに続き、真備児童館のイベントにゲストとして参加することができた。児童30人にイースターエッグ宝探しゲームを開催。ゲーム中に真備に関わるクイズ、保護者以外の大人と関わるような内容を設け、参加者児童達の情操教育にも努めた。



【SNSを使った寄付集め】

今回のイベント景品にオンライン寄付、Amazon ほしい物リストを活用、SNSをつかい募集を呼びかけた。

結果定個数が集まることができ、改めて SNS 有効性を感じる事となった。



4.見守り活動および、サロン活動（足湯、お茶会）

場所	①岡田仮設住宅
作業時間	①1.5時間（10時30分～12時）
ボランティア数	①13名
受益対象者数	①15名
作業内容	訪問活動、サロン活動（足湯、お茶会）
詳細・情報共有等	【訪問活動】 1軒1軒お伺いし、困りごと等の聞き込み調査を行った。 【サロン活動（足湯・お茶会）】 足湯・傾聴を含んだお茶会を行った。

<活動の成果>

- 1.被災者同士の良好なコミュニティ形成のサポートが出来た。
- 2.足湯でリラックスしながら、楽しんでもらい、被災者の悲しみや怒りに寄り添うことが出来た。
- 3.子どもイベントを同箇所で行い、全世代が楽しみ、会話ができる場所を提供出来た。
4. 聞き取りした内容はHP等に掲載。他団体にシェアを行なった。



【子どもたちという地域の宝と一緒に。】

今回もまた、子どもたちと大人と一緒にいられる場所を提供できた。特に岡田仮設での評判は大変良く、子供達が部屋に入ってきた瞬間に、ご年配方に笑顔が灯ってくる。

子供達と大人と一緒に笑いあえる空間は地域コミュニティとしては理想なので、今後も積極的に行いたい。



-傾聴内容抜粋-

「街に戻ってきてる人が少なくとても寂しい。」

「一人暮らしで、庭の草むしりが大変。ボランティアには任せられないし・・・」

※ボランティアセンターでは草刈りは受け付けていない。（まびシェア 永田さんより）

「ティーンチャレンジ岡山」様が受け付けているとの事なので、現在確認中。

※残りは添付資料を参照

4.写真洗浄

場所	元田集会所（真備支所向かい）
作業時間	約4.5時間（9時30分～15時）
ボランティア数	21名
受益対象者数	約20名
作業内容	写真洗浄
支援・協力団体	「あらいぐま岡山」様（場所提供・作業指示）

詳細・情報共有等	※写真洗浄とは 泥で汚れた写真を1枚ずつ丁寧に汚れを落とす作業を行う。 汚れた写真はバクテリアが周りから侵食して白くなっていく。放置しておくで見れなくなってくるので、侵攻をとめるために水・エタノール水溶液で洗浄しなくてはならない。 簡単な作業ではあるが、被災者の心に寄り添える大切な活動で、初心者には向いていると言える。 <活動の成果> 1.被災者の思い出を守り、生きる喜びを与えることができた。 2.バスを利用して大人数での効率の良い活動が出来た。 3.活動中や休憩時間などに、ボランティア同士の交流を通して、防災やボランティアの意義を感じてもらった。 【被災者の方と一緒に活動】 前回ボランティア参加者で被災者でもある、ご家族の方と写真洗浄を行うことができ、活動の終わりには、当時の状況をボランティアにお話して頂いた。 ボランティアのメンバーは熱心にその話に聞きとても意義のある活動となった。  
-----------------	--

【所感】

平成30年7月豪雨から10ヶ月たちました。
 ボランティアセンターも真備支所に移り、ハード面での復興は終わりが見え始めてきました。
 そしてソフト面として必要な「心のケア」これが今後とても重要となってきます。

あと1ヶ月で夏が来ます。あの豪雨があった日に近づけば近づくほど心はざわめきます。
 ここで精一杯愛情を与えることが子供達のPTSR、ご年配の孤独死を防ぐことが出来ます。

<地域の子供たちの為に>

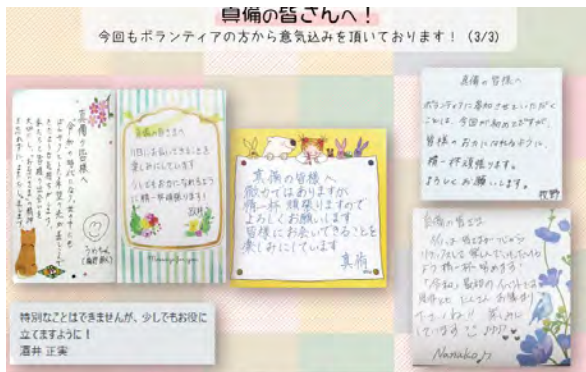
私達の団体は特にこども支援、そして子どもたちが思いやりのある心に成長する為の支援活動を重視しております。

そのためには、**地域=大人**の方が健全でないといけません。

大人、子供が同じ場所で笑いあう世界。良好なコミュニティを通じて、子供は人を思いやれる大人に成長する。そして愛情を与えた子どもたちは必ず、世界を暖かく照らしてくれる存在になってくれます。



これからも心に寄り添い、今以上に良好な地域になるように、遠くではありますがSNS等うまく活用し、支援団体や被災者の方と信頼関係を築き上げながら活動していきたいと思います。



復興支援ボランティアツアー Vol.10

<一人でも多くの方にボランティアや防災の意義を>

今回も約半数が未経験、学生参加という理想的な形になり、復興の一助と共に、被災地の現状、ボランティア・防災の意義を感じてもらえる、十分実りのある活動となりました。

今後も一人でも多くの方に参加してもらえよう、努力して参ります。

(ボランティアが真備に向けた書いたメッセージ)

最後にこのような機会を頂けた、中央共同募金会様、あらいぐま岡山様、真備児童館様、倉敷市様、倉敷市社会福祉協議会様、サンサポート岡山様、ご寄付頂いた皆様。そしてボランティアの皆様、心より感謝をお伝えしたいと思います。

本当に有難うございました。
おたがいさまプロジェクト代表 大竹

【今後の活動について】

6月 1日...写真洗浄&防災セミナー

6月下旬...復興支援ボランティアツアーVol.11



復興支援ボランティアツアー Vol.10

2019.05.11
神戸から真備へ

【傾聴アンケート4件】

(岡田：2件)

性別：(男)・女	何歳(年代)：70代?	名前・あだ名(わかれば)
お話内容		
・ ボランティアのチラシがまわってこない 地域がある		
・ 住宅の修繕が追いついていない、地域ごとに支援のばらつきがある		
・ 街に戻ってきている人がとても少ない		

性別：(男)・女	何歳(年代)：60～70代	名前・あだ名(わかれば)
お話内容		
現在、仮設住宅で1人暮らしをしていて、家に片付けに行くが、膝(たいぶ広いとのこと)の草とり等が足腰が弱いため自分ではできず、またボランティアの古に草とり等をやらせようのは申し訳ないので、ボランティアセンターにも相談していないという話であった。		

(児童館：2件)

性別：(男)・女	何歳(年代)：小学校低学年	名前・あだ名(わかれば)
お話内容		
イベントが終わり、皆んなが景品を受け取った後にお話しをした。景品で可愛いお皿を男の子がもらっていたので、何気なく喋っている男の子が「お皿もめんどくさい。弟が喜ぶからのお皿は濡れでザールがダメにTおちったから」と言っていた。3		

性別：女	何歳(年代)：60代	名前・あだ名(わかれば)
お話内容		
被災したお家の写真を見せていただきながら、豪雨の日の出来事や、復興までの日々を伺いました。一番大切なのは、毎月災害訓練を定期的に行い、誰が誰を車に乗せて避難するかをしっかりと確認することだと言われました。毎月訓練をしている福祉(?)の地区は、一人も逃げ遅れなかったそうです。あと、パソコンの充電器も持って避難することになったそうです。		

【参加者からの感想 20件（参加者数20名（回収率100%））】

10代／高校生（初参加）



初めての復興支援ボランティアでしたが、豪雨の際の状況（当日の様子の写真、自衛隊が来るまでの状況など）にくさんお話ししてくださり、胸が痛む事もありましたが、とてもよい経験ができました。被害にあわれにためご自宅も見せて頂き、豪雨の恐いや、酷さを身に痛感しました。Newsだけでは知る事ができない事も

10代／高校生（初参加）

岡田仮設では、当時の実際の写真とみせていただきました。テレビでは知る事の出来ない被災した時のお話を細かく教えていただき大変なこと、当時の状況、被災した後のこと、色々なことを教えてもらい、特に被災した方々は被災した時はボランティアの方に信頼してもらって本当に感謝しているとおっしゃる方々に触れ、改めてボランティア活動の大切さを学ぶことができました。人生の中でよい経験になりました。



20代／大学生（初参加）

写真洗浄、集合場での傾聴
今回、私は初めてのボランティア参加でしたが、個人的にすごく満足のかき経験となりました。
特に集合場で現地の人々に「生の声」を聞いたのはとても良かったと思います。
また機会があればぜひ参加したいと思っています。
ありがとうございました。

10代／大学生（初参加）

岡田施設、写真洗浄
震災時の事や、今困っていることなども聞いて、
自分自身も何か、お世やした気持ちになりました。
そして、これから自分ができることを少しずつしていこうと思いました。
また、機会があればボランティアに参加したいと思いました。

10代／大学生（初参加）



岡田仮設、児童館
初めての復興支援ボランティアでしたが、豪雨の際の状況（当日の様子の写真、自衛隊が来るまでの状況など）にくさんお話ししてくださり、胸が痛む事もありましたが、とてもよい経験ができました。被害にあわれにためご自宅も見せて頂き、豪雨の恐いや、酷さを身に痛感しました。Newsだけでは知る事ができない事も

20代／大学生（初参加）



今回、初めてボランティアに参加して、
テレビで見えるようなお仕事以外にも
被災地の方のお役に立てるようなことが
出来ることも知って自分でも出来ることが
あることが分かりました。
また、予定があれば参加したいです。

20代／大学生（初参加）

足湯、慰問、写真洗浄

どなたか

初めてボランティアに参加して、災害が~~大変~~恐ろしいと
よくわかりました。写真洗浄は判断の難しい写真ばかり、
それほど被害も大変なところだったのでよくわかった。
慰問では最初番だった人も私の祖母祖父のフナ
やという人話にはずかずかした。岡山の実備町で来
たさんのことと学べたと思いついて、私も被災者になるのを

20代／大学生

子どもたちと遊ばせて頂いて、元気な子どもたちの姿を見た
ことで、彼らの笑顔のモパワーに圧倒されました。このような
子どもたちがいてくれれば、きっと街はこれから元気になるだろう
と無責任な思いではあります。また、家屋の修復
を手伝っている方のお話を聞き、地域ごとに復興の進度にバラ
つきがあると知ってやるせないも感じました。

10代／専門学生

写真洗浄では泥や水、バクテリアによる侵食でほんの僅かは
部分しか残っていないに、悩むことが多かった。しかし、私に
とってその僅かは部分は何の事にかかわらないが、写真の
持ち主やそのご家族が写真と見て、写真を撮ったときの思い出が
蘇るかもしれない。そのために、私たちボランティアはその場所に
持ち主の方がいなくても、常に寄り添うことを忘れず、作業を行う



10代／大学生

慰問は私たちがいるおはえの方から元気な
緊張しているのは私たちがいる、今回は小エネばかりと
一緒に居るのがいい、とても楽しかった。
写真は、いろいろな形で消えてしまっている。この写真は何か
うつらうつらと、思ったより、真備の人と一緒に、
か？とよく、うつらうつらと、あつと、アムハスエ
誘いや活動情報をメールにお送りしても宜しいでしょうか？ (YES) / NO)
自分はその時、真備の方、立場に、
（YES） / NO)

20代／専門学生

写真洗浄、子ども支援(信保)

写真洗浄は2回目ですが、やはり時間と力がいいるなと思いました。直接のやりとり
だけでなく、こういった間接的な支援の情報を発信・共有することが大切だと感じました。
宝探しては、人の配置をもう少し調整する方が数々場所を増やした方が良かったと思
います。子ども達が元気いばい、に喜ばせてもらったのと良かったです。
親や他の大人の友達とのコミュニケーションも、周りの人と関係を築いてい
ことで、助けを求め、頼るような環境作りができればいいなと思いました。

20代／専門学生



早臭洗淨、具備兒童館室採

宝探しでは、沢山の子どもが参加してくれてうれしかった
です。メンバーの配置が適切ではなし、待たせてしまう
ことが多く反省点だらけですが、保護者のちが
「ありがとうございました。楽しかったです。」声をかけて
くれて、うれしかったです。
泣いてゐる子もいたけれど、最後は笑っていました！

30代／社会人

写真洗滌のみ

当人は楽しんでゐる上、人の役にたてるボランティアは
本当にすばらしいなと再確認しました。修玄に誘つて参
らだいたおかげで再び真備のお假いをしたい
という気持ちになりました。

色々な人と出会えて本当に楽しい一日でした。こうい
た機会を与えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

50代／社会人

飯後・3時交授 (AM) 写真洗滌 (PM)

(AM) 11:27-12:00 の方が、多岐に亘る案が上と下で決まり、多岐に亘る案(外)で思い切り議論がなされ、これは良い協働が実現していると思われ、今後その他の施設も、この園地を参考に、更に発展を遂げていかけて欲しいと思う。

[illegible]

20代／社会人

午前：写真洗淨 / 午後：児童向けバト(真備児童)

①天候が良く水分をこまめにとる必要があった。写真と
拝見させて頂くと、花やカラオケ、旅行中、自衛隊等、うつら
いる方の趣味等も推則できた。量が多くまたまた支援が必要だといふ。

②思えば以上の真備の皆様の集まり、子どもたちも待たせて
（もう時間（受付での待機時内）が多くなってしまった。今日ハント
を経験し、臨機応変に行動が苦しいと改め？実現？



20代／社会人

① 懸問 (周田仮設) / ② 学習支援

① わたがし製造るとき、あめ玉以外NG。ダイヤルは基本「2」
でいいが、粗いときは「1」など調節すると良い。ボールで
ふたより、ダンボールなどで同じくすると良い? 



② 1対1の指導をする。その細かなところ 

2人でやる。(13:00~15:00(2h)) の方が、価格や競争力
向上を把握するのに良い。

20代／大学生

慰問ボランティア(特に子ども)、写真洗浄

岡田俊哉の結婚の子ども、大人の方もはかばかしいらしく
ずいぶん思っているように、暫くして久の方が談話をしいる様子
が見られ良からてす。今回、水風船、水遊びが子どもたち
に好評で、無邪気に遊が、昇から元気もらえることができ
ました。写真洗浄では武政さんが、災害時についてお
話して下さい。あかねが新たに知ることもありました。